

事業所名

児童発達支援センターしおん

支援プログラム

作成日

2025年

2月

12日

法人（事業所）理念		1.子どもたちが幸せな大人になっていくよう支援を行う 2.保護者や家族をしっかりと支え 子どもたちの育ちの環境を整える 3.地域支援を積極的に行うことで発達支援を充実させる		
支援方針		大和伸進会では、専門的知識をもったスタッフが「遊び」を通して、子どもの言語・コミュニケーションや学習能力を引き出す療育をおこなっています。また大和伸進会のスタッフは、子どもに関わる大人が、子どもの苦手さと特性を 正しく理解して対応することが大切と考えています。大人の関わりの質を向上させ、大人が主導的に教え込むのではなく、味方である存在になる様に努めます。子どものモチベーションや自信を育て、『子どもから始める力』を導くことを目標に 親子共に育ちあえる場所でありたいと願っています。		
営業時間		9 時 10 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	有
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	日常生活や社会生活を営むために必要な基本的な力が身につくよう、あいさつや片付けや排泄や衣服の着脱など、出来る事が増えるように、職員が個別に声をかけてモデルを示しながら、障がいの特性に配慮して構造化や視覚支援などの支援を行っています。		
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる動きや姿勢が身につくように、かけっこやリズム遊びやサーキットやリトミックなどの粗大運動を活動に取り入れて、出来たときは褒めて自信に繋がるように支援しています。また、手先の課題や読み書きの課題も設定し、指先をうまく使えるように促しています。		
	認知・行動	認知の特性を踏まえ、個々の特性に配慮しながら、わかること・できることを増やすために、数量や大小や色などの習得や語彙の理解が進むよう課題を設定しています。		
	言語 コミュニケーション	必要に応じて検査を実施し、その結果に基づいて個別に課題を設定しています。やり取りの際に大人が仲立ちとなってやり取りやことばのモデルを示し、模倣を促して「相手の意見を聞く」「自分の気持ちを伝える」などの適切なコミュニケーションが出来るように促しています。		
	人間関係 社会性	順番を待つ、交代で使う、相手の反応を待つ、ルールを守るなどの社会で必要なスキルが身につくように、環境調整と個々の特性に配慮した課題を設定し、遊びを通じて他者への適切な関わりが身につくように支援しています。		
家族支援		発達についての心配事や家族の困りごとを共有して、安心して療育を利用できるように、利用児さんの伸びているところや苦手なところについて、療育毎にフィードバックの時間を設け、保護者の方と一緒に支援や配慮を考えています。	移行支援	利用児さんが未就園の場合、地域の園について情報を提供し、就園先を検討しながら、必要に応じて就園先の園の先生と連絡を取り合い、しおんでの様子や支援内容等の情報を共有しています。
地域支援・地域連携		並行通園する園の先生と連絡を取り合い、園での様子や支援内容等の情報を共有しています。また、しおんの職員が園訪問に伺ったり、園の先生に療育の様子を見てもらい、園の先生からのご意見をお伺いしています。	職員の質の向上	研修を受けたスタッフは報告書を作成し、職員が閲覧することで情報の共有を行っています。また、療育の実施前には療育のねらいを確認し、療育後には支援の振り返りを行って、質の高い療育を実施できるようにしています。言語聴覚士の資格を持つ職員から専門的な意見を取り入れています。
主な行事等		季節の行事（夏祭りごっこ、水遊び、ハロウィン、クリスマス会など）を随時行っています。外部の講師をお招きし、年に3回ずつ「絵本の広場」と「ミュージックケア」のイベントを開催しています。		